

市議会だより

第73号

H30.10.15 発行

発行：飯山市議会

編集：議会だより編集委員会

TEL：0269-62-3111

FAX：0269-62-0005

HP：http://www.city.iiyama.ngano.jp/gikai/

E-mail：gikai@city.iiyama.nagano.jp

あいさつ

議長 佐藤 正夫

市民の皆様には、日頃からの議会に対するご支援・ご鞭撻を感謝申し上げます。市議会だよりの発行も今期これが最後となります。我々議員の任期も残り僅かになり、この便りが皆様のお手元に届くころは、選挙戦間近と思います。改めて審判を仰ぐ選挙ですので、4年間を総括してみました。

この4年間に当市では、市民生活に直結する多くの事業が進められました。市民の安心安全はもとより住民の福祉向上のための多くの事業であります。以前からの引き続きの事業もあり、これらの事業遂行にあたっては継続することが大事だと改めて感じました。大きな災害もありましたが、議会と行政が連携をして取り組むことで成果をあげられたことは大変良かったと感じています。

一方議会はというと、今期は前

期までの議会と変わり個性あふれる議員の集まりで、市民のための活動というより議員の本質から離れたパフォーマンスばかりが目立ちました。

一問一答は、より深い議論をして市民に理解してもらおうのが筋です。一部の議員はそこを理解せず、行政をやり込めたいだけか、議論がかみ合いません。自分の主張だけして答弁を求めず次の質問に移る、これでは何のための議会か分かりません。本会議の場で何度注意されても変わらない議員もいて、市民から様々な意見や批判を頂き、議会の姿勢、議員の資質が問われる今期でした。

議案は議会を通過したら行政側が確実に施行するのが原則であり、反対だから認めないでは多数決の原理は吹き飛んでしまいます。

今、議員の質の低下や、成り手不足が言われています。議会がどうあるべきか、どのように市民と連携して行くのが良いのかは、新議員の活動に係ってくると思っています。

次期議会は広く市民との連携が取れ、改革・活性化をアピールすることができ、注目していただけることができるような落ち着いた議会に成ることを希望して、ごあいさついたします。



9月定例会概要

9月定例会は、8月24日から9月12日までの20日間の日程で開会しました。

▼開会日（8月24日）

会期決定後、平成29年度歳入歳出決算、平成30年度補正予算、条例の一部改正など33議案を上程し、市長から提案理由の説明を受けました。

▼一般質問（8月31日・9月3日・4日）

14名の議員が市政に対する一般質問を行いました。

▼常任委員会（9月5日～10日）

各委員会では決算認定、補正予算、条例改正、専決処分承認などの付託議案や請願について審査を行いました。

▼最終日（9月12日）

各常任委員長から、付託議案等の審査結果の報告を行いました。総務文教委員会からは意見書2件が提出され、採決の結果、審議された議案等については、すべて認定・可決・承認となりました。

平成30年9月定例会で審議された議案等

【決算認定12件】

平成29年度 飯山市一般会計・各特別会計・水道事業会計歳入歳出決算

【補正予算案12件】

平成30年度 飯山市一般会計・各特別会計・水道 事業会計補正予算

【条例案3件】

- ◇飯山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ◇飯山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ◇飯山市若者・定住住宅条例の一部を改正する条例

【請願3件】

- ◇保育園、小学校、中学校への空調（冷房）設置を求める請願
- ◇国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願
- ◇義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願

【事件案6件】

- ◇財産取得について
- ◇財産取得について
- ◇過疎地域自立促進計画の変更について
- ◇平成29年度飯山市水道事業会計未処分利益 剰余金の処分について
- ◇専決処分事項の承認を求めることについて【平成30度飯山市一般会計補正予算（第4号）】
- ◇専決処分事項の承認を求めることについて【平成30度飯山市一般会計補正予算（第5号）】

【報告2件】

- ◇専決処分事項の報告について
- ◇専決処分事項の報告について

【意見書2件】

- ◇国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書
- ◇義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

賛否が分かれた議案の表決結果

飯山市議会9月定例会で審議された議案のうち、賛否の分かれた議案の表決結果についてお知らせします。

※長は委員長のため委員会での表決権はありません

○=賛成 ●=反対

議案番号	議 員 名		松本淳一	飯田健一	荻原洋平	西澤一彦	江沢岸生	市川久芳	渡辺美智子	渋谷芳三	高山恒夫	上松永林	竹井政志	久保田幸治	小林喜美治	山崎一郎	石田克男	議決結果
	議案等名																	
74	平成29年度 飯山市一般会計歳入歳出決算	委員会	○	○	○	○	○	○	●	長	○	○	●	○	●	○	○	認定
		本会議	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	認定
84	平成29年度 飯山市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	委員会	○	○	○	○	○	○	●	○	長	○	○	○	○	○	○	認定
		本会議	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
96	平成30年度 飯山市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）	委員会	○	○	○	○	○	○	●	○	長	○	○	○	○	○	○	可決
		本会議	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

9月定例会での発言の取消しについて

- 市川議員の一般質問中に不適切な発言がありました。議会運営委員会からの発言を取消すべきとの決定を受け、市川議員に発言の取消しを求め、本人の申し出により議会で許可し発言の取消しがなされました。
- 飯田議員は一般質問中に議長に通告をしていない質問をしました。議会運営委員会から発言を取消すべきとの決定を受けましたが、発言の取消し勧告に応じなかったため議長職権で発言を取り消しました。（一般質問においては、議論を深めるため、あらかじめ議長に質問の内容を通告することとなっています。）

常任委員会議案審査

予算決算常任委員会

○議案第74号平成29年度飯山市一般会計歳入歳出決算関係

◎市民学習支援課

問 笹本文庫は城南中に保管されているが、市立図書館との関わりはどうか。

答 笹本先生からの寄贈本を市立図書館の蔵書として登録・管理し、城南中に設置している。インターネットで貸し出し予約ができ、現在、城南中での閲覧方法について学校側と話し合いをしている。

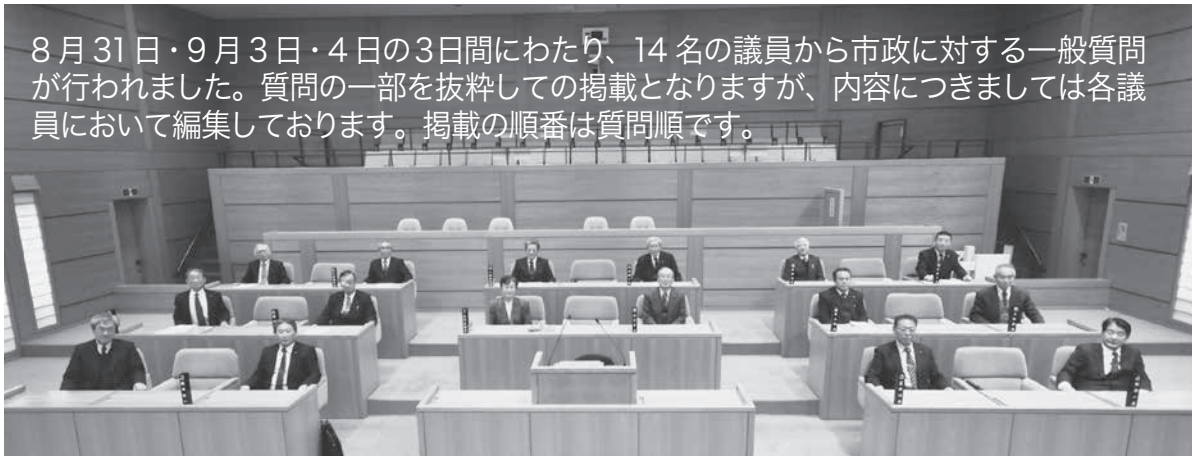
◎文化交流課

問 小林研一郎氏のコンサートは、学校への出前授業など非常に評判が良かった。昨年と2年連続での開催となったが、今後の開催はどうか。

答 県の文化振興事業団との共催事業であり、県下でも非常に注目されている。県では来年の開催に向け希望をとっている。開催に当たっては地域の協力が重要となる。

◎子ども育成課

問 泉台児童クラブは登録児童数が定員をオーバーしている



8月31日・9月3日・4日の3日間にわたり、14名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載となりますが、内容につきましては各議員において編集しております。掲載の順番は質問順です。

9月定例会一般質問

保育園と小中学校等の暑さ対策について



渋川芳三議員

問 市は今年の夏の暑さを受け、園児や児童・生徒の暑さ対策として、保育園や小学校等へエアコンを設置することについてどの様に考えているのか。

答 来年度から設置し2年以内に完了したい。設置費に約3億円、維持費に毎年1千2百万円程を見込んでいる。

◆大学との連携について

問 大学との連携についての基本的な考え方は。

答 今後は官民連携により地域資源をどのように活用するかという時代になる。その際に専門的な人材とノウハウを持つ大学との連携が欠かせない。積極的に連携を進めたい。

問 県立大学との連携によりどのような支援を県立大学に求めることを考えているのか。

答 大学の持つ人材ネットワークを活用し、若者等への専門家による活動や経営の助言。女性が得意分野を生かしての起業するための起業塾の開催。ホームページを開設しての発信を考えている。飯山は自分のライフスタイルを実現できると言う情報を発信し、若い人の集まるまちにしたい。

問 ふるさと納税で、総務省案が示されたが、今後の飯山市の取り扱いはどうなるのか。

答 総務省より返礼割合30%以内や、返礼品の内容について従前から指導はある。飯山市の返礼割合は、平成29年度は全体で46%程となっている。平成30年度から総務省の通知に沿う形で見直しを進める。

◎移住定住推進課

問 ふるさと暮らしセミナー・相談会で飯山へ移住された方はいるか。

答 移住者88名44世帯のうち、暮らしのセミナー、銀座NAGANO相談会、飯山市での相談会等の関係で約半分が移住されている。

問 婚活仲人登録者が8名ということだが、登録者数を増やす対策を考えているのか。

答 広報で募集し今年度1名仲人登録いただいた。会議についてもii活プロジェクトの会議に併せて合同で実施し連携して婚活事業を進めている。

◎農林課

問 菜の花公園地域観光資源創生事業として色々な事を行うことはよいが、地元がどのように活用できるかを話し合っている事業を進めてほしい。事業と地元の活用をどのように考えているのか。

答 今後については、地元の皆さん、菜の花きかせるかいの皆さんと話し合っていきたい。

○議案第86号平成30年度飯山市一般会計補正予算

◎企画財政課

問 地域おこし協力隊1名増員は、どのような目的で追加募集を行うのか。

答 信越トレイル業務を主に考えている。地域おこし協力隊を経て将来的には、飯山市で起業に結びついていただければと考えている。

◎まちづくり課

問 城山雨水排水ポンプ場の既設ポンプの分解調査費とあるが、ポンプは交換するのでないのか。

答 3台あるうちの1台のエンジン今年交換するが、今回の調査は、ポンプ本体を分解して傷んでいる状況を調査するためのもの。

総務文教常任委員会

◎子ども育成課

▼議案第99号飯山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（放課後児童支援員となる基礎資格

のうち「5年以上事業に従事した者で市長が認めたもの」が加わり資格要件を拡大する。

問 省令改正に伴うものか。

答 省令改正に伴う改正。飯山市の児童クラブ全施設に放課後児童支援員基礎資格を持つ職員は少なくとも1名いる。

◎スポーツ推進室

▼議案第102号財産取得について（インターハイ開催に向け、クロスカントリーコース整備に必要な圧雪車を購入）

問 圧雪車の入札に参加できる会社は何社くらいあるのか。

答 大手では国産1社、外国産2社の計3社がある。

産業民生常任委員会

◎移住定住推進課

▼議案第100号飯山市若者・定住住宅条例の一部を改正する条例（飯山市若者住宅及び飯山市定住促進住宅の用途廃止、新規追加と区分変更、若者住宅の使用者資格要件の緩和、上新田若者住宅の使用期間についての改正）

問 若者住宅は全部で何戸になるのか。

答 今回新たに3戸建設することにより、既存の5戸と合わせて8戸となる。

平和学習について



竹井政志議員

問 今年度の取り組みの要点と課題は。また飯山の戦争遺跡の活用は。

答 広島で開催された「被爆者の体験を語る会」などに参加し現地に行かなければできない体験ができた。11年間の記録をまとめ、平和について考える材料にしていく。軍馬の碑などの戦争遺跡を社会教育の場でも取り上げていく。

◆学力テストについて

問 4月に実施された全国学力テストの結果を発表。飯山の状況は。また文科省は「国に参加強制権がない」としているが来年度参加するのか。

答 飯山市では全国平均とほぼ同じ。小中学生の理科が苦手だと理解した。参加する。

◆道徳教育の教科化について

問 教科化のねらいは。また教科書の採択と評価は。

答 今まで道徳の効果が不十分、最近の規範意識の低下、大津いじめ事件などが契機。教科書あり評価ありで充実に向かう。採択は「子どもたちにふさわしい」というのが根拠。数値ではなく文章で評価。

戸狩工業団地への木質バイオマスの発電所誘致



松本淳一議員

◆飯山市のエネルギー戦略

問 これまで1年以上一般質問の中で様々述べてきたが、結論として7000坪の木質バイオマス発電所誘致の白紙撤回を要求する。理由をあげる。①汚染木材の使用による大気汚染の懸念が解消されない。②毎日1000トンの地下水使用で影響が何もないとは考えられない。次第に地下水が低下するのを避けられない。③地域産材では木材燃料が大幅に不足する見込みである。④周辺景観に対して全くそぐわない。高さ30メートルの建物は飯山市景観条例の趣旨からも逸脱するものである。

答 現在、地元説明など誘致活動をしている、要求は仮定に基づいている。現時点での白紙撤回は受け入れられない。

問 景観条例について市はどのように考えているのか。

答 市の景観計画、景観条例は国の景観法に基づくもので、発電所がその場所にふさわしいか否かを判断するものではない。企業が建物を建設する際に、景観づくりに取り組んでもらう方針・配慮を示している。

市内小中学校、保育園にエアコンの設置を



小林喜美治議員

問 今年の夏はかつてない猛暑となり、命の危険さえ言われた。日本共産党議員団はこうした事態に、教育委員会にエアコン設置の申し入れと、学校・保育園などの実態調査を行ってきた。先の答弁で、県の支援もあるので2年間位で設置との趣旨の答弁もあるが、2年間と言わず来夏までに間に合うよう一気に設置してはどうか見解を。

答 大変な猛暑で、保育園・小中学校にはエアコンが入っていないということと少なくとも2年以内と答弁してきたが、できれば1年でできないか、検討したい。

問 財源については、塩尻市が、ふるさと納税に一部を使い来夏までと言っている。飯山市も堅調な伸びを見せているふるさと納税について、こういう時こそ使ってはどうかと思うが見解を。

答 国・県の支援もあるが、一気にとなるとこれだけでは足りないと思うので、ふるさと納税、その基金も含めて、実施に向けて検討を進める。

保育園と小・中全教室にエアコン完備について



市川久芳議員

問 「子育てするなら飯山市」と言うならば、保育園と小・中全教室に他の北信自治体の先頭を切つて入れるべきと考えるが。

答 今夏の猛暑をふまえ、少なくとも2年以内、できれば1年でできないか検討してみたい。

◆バイオマス発電について

問 誘致しているグリーンサームルの主な仕事は、バイオ燃料の販売であるが、外国から輸入したパームヤシ殻の販売も行っているのか。

答 パームヤシ殻の販売もしているときいている。

◆人口2万人割れについて

問 2045年（あと27年後）の飯山市の人口を社人研が発表したけれどぐくらの推計人口か。また、2015年を100とした場合の指数は。

答 今年の3月末の発表によると人口10、619人で指数は49.5となっている。

◆職員の民間企業への派遣

問 下條村はそれをやって成功しているが、市長にその気があるか。

答 必要なことと考えている。

足立市政を振り返ると



上松永林議員

問 大聖寺池が決壊すれば大変な被害が予想されるが。

答 昨年ハザードマップを配布。地元との話し合いを進める。

問 市長が掲げた公約の実現状況と主な実施事業は。

答 新幹線開業に伴う建設、交流館「なちゅら」建設、広域観光推進、若者会議設置、人口増対策、総合的な子育て支援、飯山日赤への支援、国際交流事業、ふるさと寄付の特典拡充など。市民との対話が大事と考えた。二期目の公約の七〇八割は達成できた。

問 三期目に立候補しているが。重点施策はなにか。

答 完成したインフラを活用するソフトの時代。経済活性化、予防医療、若い世代の人口増、子どもの新しい教育分野などに力を入れたい。大学や企業との連携、農業では蕎麦やワイン等新しい取り組みを応援する。観光施策では飯山駅観光交流センターの活用、二次交通の確保と情報発信に努め、新幹線効果を確実なものとする。起業と共に、若者のUターン策など事業継承も支援する。外国人の移住定住にも力をいれる。

29年度決算について



渡辺美智子議員

問 29年度決算は黒字決算で、公債比率、将来負担比率においても健全財政になっている。実質収支比率においては26年度より10割を越している。自治体の場合「3・5割が望ましい」と言われている事からすると、5割とすれば約4億円が市民生活充実に向けられると考えるが。

答 ふるさと寄付金の返戻金が増え、翌年度の不測の事態が生じた場合の弾力的な範囲と考える。

問 給食費補助を就学援助受給者へ全額給付出来ないか。

答 新年度より全額給付に向け予算計上を進めている。

問 全国的に給食費補助をしている自治体が広がっている。全児童対象に補助出来ないか。

答 現在は考えていない。子育て支援全体の中で考える。

問 介護慰労金。現在の年3万円を引き上げの検討は。

答 基準日9月1日に死亡の際も、180日間在宅で介護の場合も支給するように基準の見直しをした。金額の引き上げについては市の財政状況をみながら検討に入っている。

木質バイオマスの発電所誘致を白紙撤回すべき



飯田健一議員

問 市が主催した講演会で福島教授は木質バイオマス発電への燃料供給は地産地消が基本であると述べています。今回の戸狩の事業は全く足りず教授の発言と全くそぐわない内容であります。これについて市はどう考えていますか。

答 燃料の調達は年々増加する傾向にあり、事業は成り立つと考えています。

◆福島教授は木質バイオマスのエネルギー活用の種類を3分類しその内、熱供給、熱と電力合わせて供給いわゆる小型熱電併給はエネルギー変換率75割、電力供給は25割で、電力供給型は資源有効活用の点から望ましくないと説明しています。戸狩は電力供給型であります。この点について市はどう考えますか。

答 教授は課題を提起されたのです。排熱の利活用については事業者と協議しながら、農業、融雪等への利用など何らかの方法で地域の皆様に還元できるような方策を探っていきたい。

地域の魅力を活用する重要性について



山崎一郎議員

問 飯山には多くの文化財や素晴らしい先人がおられたが、これらの魅力が十分活用されていないのではないかと。

答 文化財や先人の功績等は、郷土愛を育む素材として教育委員会サイドでは活用しているが、観光等に結びつける段階に進んでいない実情。今後しっかりと取り組んで行く。

◆丸山邦雄氏の顕彰について

問 28年3月議会で提言した満州からの日本人引き上げに命がけで尽くされた丸山邦雄氏の偉業が、NHKでドラマ化し放映されたが、顕彰についてどのような状況になっているか。

答 年内に結論が出るように委員会検討を進めている。

問 顕彰碑が出来て終わりにしないで、丸山邦雄氏の功績をどう活かすかを地域の将来に大切にすべきと思うが。

答 一過性にならないよう社会科副読本を作成し次の世代に伝えていく。また、地域の活性化になるように市内外に広く情報発信していくように検討していく。

かがやく地域づくりへ



高山恒夫議員

◆人口減少社会への対応

問 今日の人口減少社会にどう向き合うか。

答 選択の幅を狭めることなく、技術革新や国際化など将来を見据えた対応が大事と考える。

◆やさしさの気づき

問 子ども館きららで放課後デイサービス事業が始まった。充実に期待。

答 思いやりを基本に市政を進めていきたい。

◆行財政改革と学校議論

問 第六次行財政改革大綱に学校統合の位置づけは。

答 学校課題検討委員会で議論を重ねている。財政効率のみでは論じられない。

◆山岳地のトイレ設置

問 小菅神社奥社、参道も含め公衆トイレが必要では。

答 重要文化財の活用と継承を含め、地元や有識者の意見を聞き設置を進めたい。

◆千曲荘の跡地利用は

問 敷地1万5千平方メートルは人工芝サッカー場を検討したらどうか。

答 幅広く意見を聞き検討したい。

飯山市第五次総合計画後期基本計画



西澤一彦議員

問 後期基本計画にそつて、さらに活気あふれた、安心して住める、温かい郷土飯山であり続ける責任が我々にある。特にこれからの5年間は、飯山の100年の大計の、礎を築く重要な期間と考えるが、市長の決意は。

答 今後5年間は重要な期間。新幹線開業効果が現れ始め、若者定住、雇用の確保、子育て支援等、活力にあふれ安心して住める飯山を目指し全力で取り組んでいく。

◆防災減災対策について

問 飯山市の防災減災対策は。新たな情報伝達システムを中核とした防災体制を平成32年までに工事を終了予定。デジタル放送となりクリアな音声になる。屋外のスピーカーなども検討している。避難勧告も早期避難に結びつくよう時期を逸することなく適宜に出していく。

問 災害が起きてすぐには消防、警察、自衛隊は来れない。そこで、初期対応の防災学習が重要と考える。

答 指摘の通り、行政でも支援していく。

企業誘致は飯山市の重要課題



久保田幸治議員

問 米の食味コンクールの充実と米のブランド化について。

答 米の国際コンクールの予選会でなく飯山市独自のコンクールに変え、飯山市の米のブランド化を図るためのコンクールにしたい。

問 草を刈ったまま片づけていない。現地確認をしているか。

答 今後指摘されないよう可能な限り現場確認をする。

問 小水力発電所建設後の利用をどのように考えているか。

答 災害時の非常用電源としては考えている。施設については、小中学生の教育教材として庁内で検討していく。

問 道の駅の隣接地に雪室建設の構想を。

答 道の駅の拡充を図り、構想を練って研究していく。

◆バイオマス発電事業誘致の基本的考えは

問 市長の基本的考えは。

答 企業誘致は市にとって重要な課題だ。市政運営に当たっては市民の声を広く聞き誠実に8年間務めてきた。このバイオマス発電事業も、地域の賛同が得られないということであればこの事業はやらない。